ESOTERIC

スーパーオーディオCD/CDトランスポート

Grandioso P1X SE

Super Audio CD Transport

モノーラルD/Aコンバーター

Grandioso D1X SE

Monoblock D/A Converter

ESOTERIC

ESOTERICは日本発のハイエンド・オーディオブランドとして、1987年のブランド創設以来、絶え間なく高音質再生の限界に挑戦し続けることで、イノベーションの先頭を歩んできました。ESOTERICの名声とプレステージを支えてきた卓越の音響エンジニアリング、コストにとらわれない膨大な物量投入、「ミュージアム・クオリティー」の クラフツマンシップ、そして音楽を再生するにふさわしい美しいデザイン。このようなブランドが定める高いクオリティーレベルを最高まで極めた各プロダクトカテゴリーのトップモデルが「Grandioso」です。

カンタービレ（歌うように）、レガート（滑らかに）など、クラシック音楽において、その楽曲をどのようなイメージで演奏するかを示す言葉を発想標語といいます。ESOTERICはフラグシップに相応しい威厳と風格を求め、その想いをグランディオーソ(壮大な、堂々と、威厳のある)という言葉に込めました。Grandiosoは、伝説的なスーパーオーディオCDトランスポートメカニズム「VRDS-ATLAS」、独自のディスクリート回路で構成された「Master Sound Discrete DAC」や「Master Sound Discrete Clock」など、独自性の高い数々の技術革新をハイエンドオーディオの世界にもたらしてきました。

そして、新しいディスクリート・クロック技術とDACのアナログ部のアップグレードを主軸とした、SEモデルがここに登場しました。
私たちは、ブランドのプライドに掛けて、常に最高の音を目指しています。
今回発売するSEモデルには、オリジナルモデルが発売された時から現在までの考え得る全ての技術的な蓄積を反映させました。更に進化した臨場感、ダイナミクス、素晴らしくオーガニックで音楽性に溢れた音色のテクスチャーをお楽しみください。

VRDS ATLAS

音の極地にいざなう、かつてなきトランスポート・メカニズム。

VRDSテクノロジー

「VRDS（Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System）」は、ブランド設立以来、ESOTERICがこだわり続けてきたCD/スーパーオーディオCDトランスポート・メカニズムの基幹技術です。ディスクを同径のターンテーブルに確実にクランプして回転させ、ディスク自身の回転振動やメカニズムの不要振動を徹底して排除します。また、ターンテーブルでディスクの反りを矯正することで、光学ピックアップとディスクピット面の相対光軸精度を大幅に向上させ、サーボ電流を極小化。これらにより、ディスク読み取りエラーの大幅な減少と優れた音質を実現します。

NEOからATLASへ

「VRDS-ATLAS」は、VRDS史上最も静かで、エレガント。そして、その魔法の機構から生まれるのは、アルプスの源流のようにクリアなサウンドです。2003年にスーパーオーディオCD対応トランスポート・メカニズム「VRDS-NEO」が登場してから16年。すでに業界最高水準と評価されたNEOを更に高いレベルに導くことは、非常に大きなチャレンジでした。しかしながら、根幹から設計を見直し、類まれなる機構の完成度と高音質を誇る完全新規設計プラットフォームがついに完成したのです。

VRDS史上最高の剛性＆重量級コンストラクション

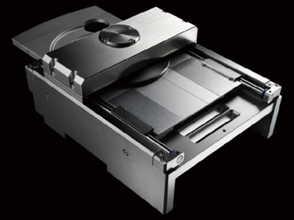
「ギリシャの神々のように逞しい鋼のメインフレーム。ATLASは、VRDSメカニズム史上最高の剛性と重量を誇ります。剛性と力強い音色を両立するSS400スティール製サイドパネル、ブリッジは大型化し、従来比127%（メカ単体6.6kg、ベース部含め13.5kg）の重量級コンストラクションを実現。音質に悪影響を及ぼすあらゆる振動を減衰させています。ターンテーブルは、音質に定評のあるジュラルミン素材を採用。スムーズな回転をつかさどるスピンドル軸受けには、スティールボールによる点接触のスラスト軸受けを採用。摩擦や回転ノイズを極限まで抑える設計としました。

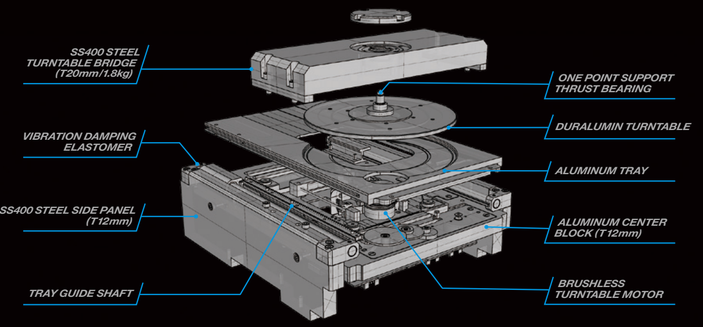
ワイド＆低重心設計がもたらす振動の最適なコントロール

システムから色彩感豊かに音楽を引き出す一方、自らは寡黙に徹するVRDS-ATLAS。背景の静けさこそが、音楽のビビッドな煌めきを引き立てるのです。VRDS史上最も静かなその機構を実現する鍵となったのが、振動をより効率的に減衰させるメカニカル・アース技術です。メカニズムを幅が広く、背が低いワイド＆ロープロファイル設計とすることで、コンストラクション全体を低重心化。同時にターンテーブルの駆動方式を見直し、モーターを従来のブリッジ最上部からターンテーブル下側に移動することで、振動が地面にアースされるまでの経路を大幅に短縮化。機械的ノイズを低減することに成功しました。

エレガントなトレーの機構動作

トレーの開閉機構にも、フラグシップモデルに相応しいラグジュアリーな質感を。トレーはくり抜きを最小限とすることで最も共振が少ない形状にデザインされ、遊びの少ないスムーズな開閉を誇ります。さらに特殊な振動吸収エラストマー樹脂で音楽再生時のトレーの共振を最小限に防ぎます。





Grandioso P1X SE

Super Audio CD Transport

電源ユニットを別体とした、ESOTERIC最上位トランスポート。

広帯域伝送を可能にする「ES-LINK5」(P1X SE/D1X SE共通)

ES-LINKは、HDMIケーブルを使って超広帯域デジタル伝送を行うESOTERIC独自のデジタルインターフェースです。「X」エディション以降では、バージョンが「5」となり、DAC側で受けられる信号は、更にワイドレンジに進化しました(最大:DSD22.5MHz、PCM768kHz/48bit)。HDMIの複線構造を生かし、「オーディオデータ」、「LRクロック」、「ビットクロック」それぞれの信号をフルバランス方式で伝送。通常のデジタル伝送と異なり、送り手側での信号変調と受け手側での復調のプロセスを必要とせず、DAC側のデジタル処理負荷を大幅に軽減することで、ピュアで理想的なデジタル伝送が可能になりました。

電源別体の2シャーシ構成

フラグシップモデル伝統の本体と電源部を分離した2シャーシ構成を採用。振動の原因となる電源部を別ユニット化することで、更に静粛なディスク読み取りと高音質を獲得しています。

電源ユニット

4つの独立トロイダル電源トランス

電源ユニットには、合計で4つの独立したトロイダル電源トランスを搭載。各回路(サーボ回路、ドライブメカ駆動回路、デジタル出力回路、クロック回路)へクリーンでパワフルな電源を供給します。

「ローフィードバックDCレギュレーター」(P1X SE/D1X SE共通)

電源レギュレーターは、集積回路を使わないディスクリート構成で設計し、安定化のためのフィードバック量を最小限とする「ローフィードバックDCレギュレーター」をP1X SE/D1X SEともに採用。フィードバック量の低減で、瑞々しいエネルギー感と開放感溢れるサウンドを獲得しています。

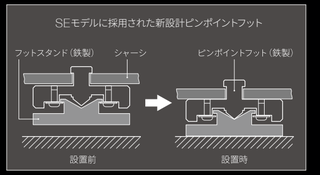
「EDLC」スーパーキャパシター (P1X SE/D1X SE共通)

P1X SE /D1X SEともに電源回路の随所にスーパーキャパシター「EDLC※」を搭載。システムで使用するEDLCはP1X SEが合計38本(合計容量1,400,000μF=1.4F)、D1X SEがペア合計50本(合計容量1,300,000μF =1.3F)。電源の容量を最大化することで、低域の解像度などに目覚ましい音質向上を遂げています。

※EDLC (Electric Double-Layer Capacitor):主に電気自動車産業向けに次世代のパワーデバイスとして開発されたコンデンサーで、その驚異的な大容量が注目されている技術です。

マルチレイヤーシャーシ (P1X SE/D1X SE共通)

各ユニットのシャーシコンストラクションも特別の配慮を行い、剛性の高い重量級肉厚アルミパネル・エンクロージャーで振動のコントロールを徹底しています。各コンポーネントを固定するボトムシャーシは、複数枚の鋼板を使ったマルチレイヤー構造を採用。電源トランスとその他のコンポーネントをそれぞれ別のレイヤーに固定し、立体配置することで、各コンポーネントの相互干渉を防いでいます。ESOTERIC独自のピンポイントフット(特許第4075477号、第3778108号)は、SEエディションではフット本体をボトムシャーシにねじ止めせず、設置時にシャーシの自重で支えられる新しい構造とすることで、面積の広いボトムシャーシにフットをねじ止めした場合に生じる応力の集中を避け、より開放的なサウンドを目指しました。



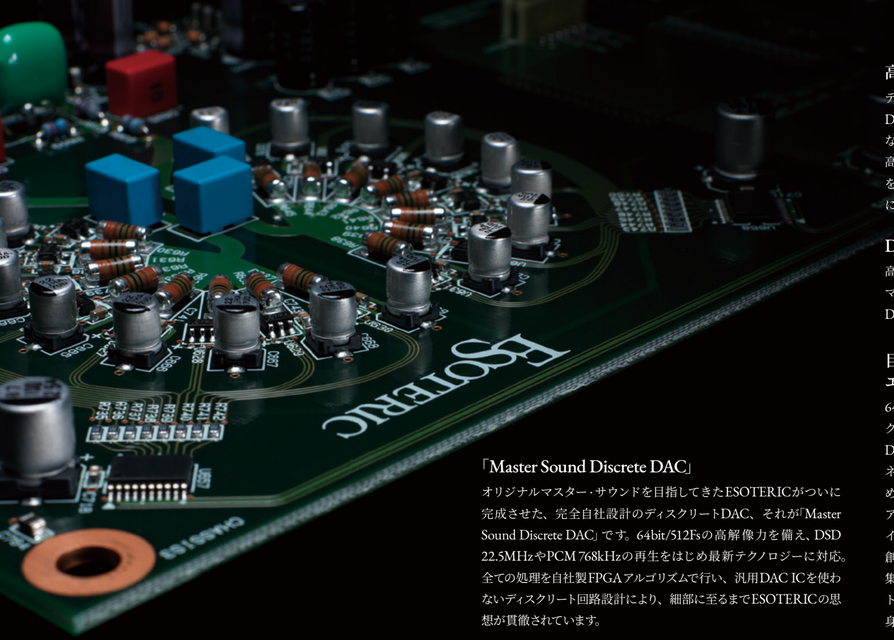
セミフローティングトップパネル (P1X SE/D1X SE共通)

トップパネルをネジで締め付けないセミフローティング構造にすることで、伸びやかで開放感のあるサウンドを引き出します。

アルミニウムボディの両面リモコン付属(RC-1333)

Master Sound Discrete DAC

目指したのは音楽のエネルギー、躍動感。オリジナルマスター・サウンド、ここに極まる。



「Master Sound Discrete DAC」

オリジナルマスター・サウンドを目指してきたESOTERICがついに完成させた、完全自社設計のディスクリートDAC、それが「Master Sound Discrete DAC」です。64bit/512Fsの高解像力を備え、DSD 22.5MHzやPCM 768kHzの再生をはじめ最新テクノロジーに対応。全ての処理を自社製FPGAアルゴリズムで行い、汎用DAC ICを使わないディスクリート回路設計により、細部に至るまでESOTERICの思想が貫徹されています。

高解像度64bit/512Fsの処理能力

デジタルはどこまでアナログに近づけるのか?「Master Sound Discrete DAC」の登場で、永年議論の的となってきたこの命題は過去のものとなるでしょう。「Master Sound Discrete DAC」は、ESOTERIC史上最高となる64bit/512Fsの高解像度を獲得。デジタル領域での演算誤差を極限まで低減させることで、極細部のテクスチャーに至るまで、克明に描写できる圧倒的な表現力を獲得しました。

DSD 22.5MHz/PCM 768kHzに対応

高解像度なDSDマスターファイルもネイティブで再生。様々なフォーマットにも余裕で対応。その圧倒的なパフォーマンスも「Master Sound Discrete DAC」の魅力の一つです。

目指したのは音楽の躍動感、エネルギー感の完全なる再現

64bit/512Fsの高解像度、圧倒的なパフォーマンス。しかしスペックだけでこのDACの本質を語ることはできません。「Master Sound Discrete DAC」が目指す真のゴール。それは音楽の「躍動感」や、「エネルギー」の完全なる再現です。音楽とは、演奏家がパッセージに込めた情熱であり、それは瞬間的・爆発的なエネルギーに他なりません。アナログ信号の最上流であるDACにおいて、集積チップよりも更にハイグレードなパーツ、贅沢な物量を投入して、よりパワフルなDACが創れないものか。そんな想いが、ディスクリートDACに結実しました。集積回路では表現できない大きな世界を伝えたい… ESOTERICのトップ・エンジニア・チームが、プライドを賭して完成させた、まさに渾身のサウンドです。

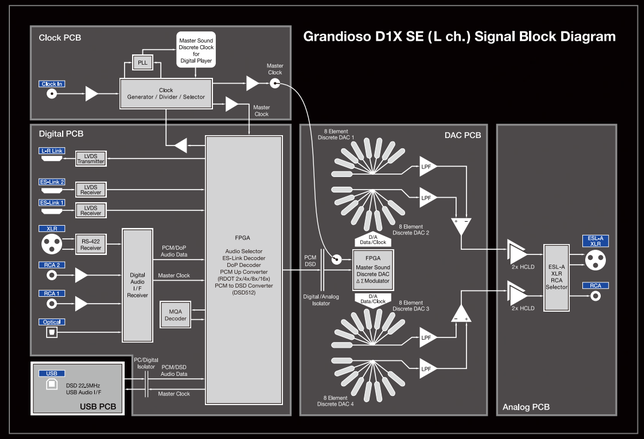
IDM-01をはじめとする高音質パーツを採用

新しいSEモデルにおいては、アナログ回路のディスクリートパーツをブラッシュアップすることで、更なる高音質化を目指しました。増幅素子には、オリジナルモジュール「Integrated Discrete-Amplifier Module IDM-01」を搭載。素材や回路パターン、レイアウトまでを吟味することで、ディスクリート構成のアンプと同じようにESOTERICのサウンド・フィロソフィーを徹底させるとともに、集積回路の利点を生かした極めて短い信号経路により、音楽の躍動をダイナミックかつ繊細に増幅することができます。このIDM-01をはじめ、アナログフィルターの抵抗やコンデンサーなど、アナログ部のパーツ選定を吟味し、試聴を繰り返すことで、より生々しいライブ感、聴感上のダイナミクス向上、よりオーガニックなテクスチャーを備えた音質を実現しています。

贅沢な物量投入と強力な電流出力能力

ディスクリート構成ならではの贅沢な物量投入は、その基板レイアウトで一目瞭然です。信号伝達が等距離になるよう、32組の回路エレメント※を、2つの円形状にならべて配置。一つ一つのエレメントは、抵抗、ロジックIC、電源回路などすべての構成部品を32回路分独立させています。32回路分が独立した贅沢な電源は、音楽のエネルギーを余さずピュアに出力します。また抵抗は、測定器などで使用される超高精度部品をさらに選別することで公差を極小とし、デジタル処理の精度を極限まで高めています。

※回路エレメント8つ1組で1つのDACを構成し、このDACをチャンネルあたり4回路で構成。



高度な品質管理が生む高音質

部品の公差が演算精度に直結するディスクリートDACにおいては、電子基板の製造にも高度なノウハウと品質管理が求められます。ESOTERICの自社ファクトリーは、病院のオペ室と同レベルのクリーンルームで、無酸素炉でハンダ付けを行うなど、世界有数の基板マウント技術を誇ります。オーディオ、医療・航空宇宙・防衛関連の電子基板製造で培った技術が「Master Sound Discrete DAC」の高品質を支えています。

ステレオの理想を追求した究極的進化、モノーラル構成

最高レベルのチャンネル・セパレーションと、各チャンネルへの理想的な電源供給を目指し、ESOTERICは、「D-01」で2004年に世界で初めてモノーラルD/Aコンバーターの実用化に成功しました。以来、ESOTERICのフラグシップD/Aコンバーターの系譜に連なるモノーラルDACの最新モデルがGrandioso D1X SEです。回路から電源、シャーシなど、細部に至るまで新しいテクノロジーをふんだんに投入して完成しました。モノーラル構成ならではの定位感と奥行き感に富んだ、圧倒的なステレオの世界をご堪能ください。

内部底面

独自の電流伝送強化型出力バッファー回路、「ESOTERIC-HCLD※」

音質の要となるESOTERIC-HCLD出力バッファーアンプは、D/Aコンバーター部から独立した基板で構成し、オリジナルモデルGrandioso D1の倍となる贅沢な物量を投入してアップグレードしています。応答速度を表すスルーレートが2,000V/μsという驚異的なハイスピードを誇る素子を採用。RCA出力の場合は4回路のパラレル構成、XLRバランス出力の場合はホット/コールドごとに2回路づつ使用する贅沢な構成としています。アナログ出力回路にとって最も重要な電流伝送能力とスピードを極限まで追求し、息を呑むほどのダイナミックレンジで音楽のリアリティーを再現します。

※ HCLD＝High Current Line Driver

高音質な電流伝送「ES-LINK Analog」を装備

アンプとの接続にライン接続（XLR、RCA）のほか、ESOTERIC独自の伝送方式「ES-LINK Analog」を採用。ハイスピードで強力な電流供給能力を誇るHCLDバッファー回路の高性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能。対応機器※との接続により、システムのポテンシャルを最大限に発揮するアナログオーディオ伝送の理想的な方式です。

※接続ケーブルは一般的なバランスケーブル（端子形状：XLR）ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用できません。

内部上面

デジタル回路とアナログ回路の分離を電源部まで徹底し、高音質を追求

アナログ回路は、デジタル回路からの電気的なアイソレーションを徹底。さらに、デジタル回路用、及びアナログ回路用に電源回路も独立させています。チャンネルあたり2つの強力な大型トロイダル電源トランスで各回路ブロックへクリーンな電源を供給します。

ソースに合わせて多彩なD/Dコンバート

推奨のオリジナルFsでの再生に加え、お好みに応じて、PCMデジタル信号を2/4/8/16 倍（最大768kHz）にアップコンバートする機能を装備。さらに独自のアルゴリズムによるPCM>DSD変換機能を搭載。DSDは22.5MHzにアップコンバートします。また、DSDデジタルフィルターのON/OFFも選択できます。

DSD22.5MHz、PCM768kHz/32bit、アシンクロナス伝送対応のUSBオーディオインターフェース

ネットワークトランスポートやパソコンと接続するためのUSB端子を装備。スタジオマスター・クオリティーのソースも再生できます。

Master Sound Discrete Clock

for Digital Player　（P1X SE/D1X SE共通）

デジタル再生の高音質化の最大の鍵はクロック回路にあるといっても過言ではありません。ESOTERICは従来、汎用モジュールとしてパッケージ化されていたクリスタル発振回路にフォーカスを絞り、フラグシップ・マスタークロック・ジェネレーター Grandioso G1X用に独自のマニュファクチュール・クロックモジュール「Master Sound Discrete Clock」を完成させました。G1X独自のディスクリート回路は、その優れた音楽表現力により、従来精度でのみ語られることの多かったクロックの世界に一石を投じ、高い評価を獲得しました。

このディスクリート回路の設計思想をデジタルプレーヤーの内蔵クロックに適用したのが、SEモデルで採用された「Master Sound Discrete Clock for Digital Player」です。大型の水晶発振子など、厳選したディスクリート部品を使った独自の回路設計により、汎用型のクロックでは実現できない、細部に至るまでESOTERICの思想を反映させた高音質を実現しています。また、外部マスタークロックジェネレーター Grandioso G1Xと接続し、内部回路をさらに高精度な10MHzクロックに同期させることで音質をアップグレードすることも可能です。

ESOTERIC

Grandioso D1X SE

Monoblock D/A Converter

ステレオの理想を追求した究極的進化。ESOTERIC 最高峰モノーラルDAC。

— Specifications —

ESOTERIC

Grandioso P1X SE
Super Audio CD Transport

再生可能ディスク	スーパーオーディオCD、CD、CD-R、CD-RW
デジタル出力	
ES-LINK	1系統
XLR	2系統 (Dual AES出力時は、2つの端子を使用するので1系統になります)
RCA	1系統
クロックシンク入力	
BNC	1
入力インピーダンス	50Ω
入力可能周波数	10MHz (±10ppm)
入力レベル	サイン波 0.5 ～ 1.0Vrms
一般	
電源	100V AC 50/60Hz
消費電力	18W
外形寸法 (W x H x D、突起部を含む)	445 ×162 ×449mm (本体部) 445 ×132 ×452mm (電源部)
質量	29kg (本体部)、24kg (電源部)
希望小売価格	4,290,000円 (税込)

Grandioso P1XをGrandioso P1X SE仕様へバージョンアップするサービスをご用意。
バージョンアップサービス (VUK-P1XSE): 価格 440,000円 (税込)

Grandioso D1X SE
Monoblock D/A Converter

アナログ音声出力	
XLR/ESL-A	Lch、Rch 各1 (モノーラル)
RCA	Lch、Rch 各1 (モノーラル)
出力インピーダンス	100Ω (XLR)、47Ω (RCA)
最大出力レベル	5.0Vrms (XLR)、2.5Vrms (RCA)
周波数特性	5Hz～30kHz (–3dB)
S/N比	113dB
歪率	0.0007%
クロックシンク入力	
BNC	Lch、Rch 各1
入力インピーダンス	50Ω
入力可能周波数	10MHz (±10ppm)
入力レベル	サイン波 0.5 ～ 1.0Vrms
一般	
電源	100V AC 50/60Hz
消費電力	20W
外形寸法 (W x H x D)	445 ×132 ×448mm (突起部を含む)
質量	23.1kg (Lch)、23.0kg (Rch)
希望小売価格	4,290,000円 (税込)/ペア

デジタル音声入力	
ES-LINK	2系統
入力信号形式	リニアPCM(ES-LINK5フォーマット) 44.1 ～ 768kHz、48bit DSD(ES-LINK5フォーマット) 2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz
XLR	1系統
入力レベル	5.0Vp-p
入力インピーダンス	110Ω
入力信号形式 (DUAL接続時)	リニアPCM(DUAL AESフォーマット) 88.2 ～ 384kHz、16 ～ 24bit リニアPCM(ES-LINK3フォーマット) 88.2 ～ 192kHz、48bit DSD(ES-LINK1、ES-LINK2、DoP フォーマット) 2.8MHz
入力信号形式 (SINGLE接続時)	リニアPCM(AES/EBUフォーマット) 32 ～ 192kHz、16 ～ 24bit DSD(ES-LINK1、ES-LINK2、DoP フォーマット) 2.8MHz
RCA	2系統
入力レベル	0.5Vp-p
入力インピーダンス	75Ω
入力信号形式	リニアPCM(IEC60958フォーマット) 32 ～ 192kHz、16 ～ 24bit DSD(DoPフォーマット) 2.8MHz
光デジタル	1系統
入力レベル	–24.0 ～ –14.5dBm peak
入力信号形式	リニアPCM (IEC60958フォーマット) 32 ～ 192kHz、16 ～ 24bit DSD (DoPフォーマット) 2.8MHz
USB (USB2.0 準拠)	1系統 (B端子)
入力信号形式	リニアPCM 44.1 ～ 768kHz、16 ～ 32bit DSD 2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz

Grandioso D1XをGrandioso D1X SE仕様へバージョンアップするサービスをご用意。
バージョンアップサービス (VUK-D1XSE): 価格 440,000円 (税込)/ペア

安全に関するご注意

■正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
■水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

©2024 All rights reserved. TEAC CORPORATION 当社は、ステレオの補修用性能部品を製造打切後8年保有しております。仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。製品の色は、撮影・印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。当社は、消費者庁及び公正取引委員会から認定されたルールに基づき、適正な表示を推進しています。ESOTERIC、Grandioso、VRDS、VRDS-NEO、およびMaster Sound Discrete DACは、ティアック株式会社の登録商標です。Super Audio CDとDSDは登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ESOTERIC製品取扱店

ESOTERIC

ESOTERICブランドサイト
https://www.esoteric.jp/

製品に関するお問い合わせ、ご相談はAVお客様相談室へ。
携帯電話・IP電話からは **042-356-9235**
一般固定電話からは **0570-000-701** (ナビダイヤル)
FAX **042-356-9242**
受付時間 10:00～12:00/13:00～17:00 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

このカタログの記載内容は2024年4月現在のものです。

PRINTED IN JAPAN 0424·TECD-0353B